
魚

亀山

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魚

【Nコード】

N1532Q

【作者名】

亀山

【あらすじ】

テーマは魚。

幼馴染と僕の会話

生まれ変わったら金魚になりたいなあ

そう背中あわせに僕に寄りかかった幼馴染が呟いた。

赤い、とても赤い金魚になりたい

雑誌を開きながらの呟きはけれども本気のように僕はちらりと背後を見てから独り言のように言葉を重ねた。

金魚になりたいの？

うん、なりたい

幼馴染がばさりと雑誌を持ち上げた音がした。

だって、金魚になれば何も考えてなくてもいいでしょ？冷たい水の中にぷかり浮かんで餌を食べてあとはうとうとすればいいんだもん

そうでもないよ、飼う人がいないと生きていけないじゃんか

僕が反論するとそうか、と幼馴染は俯いた気がした。

そしてじゃあ、と幼馴染は雑誌を床に置く。

じゃあ飼ってくればいいじゃん

はあ？

背中で幼馴染の体温を感じながら僕は思わず漫画から顔をあげた。

なんで僕が飼わなきゃいけないのさ？

つきあってよ、幼馴染のささやかな夢に

僕はやだよ、と呟いた。

だって僕は鯉に生まれ変わるって夢があるんだから
鯉？

なんでさ、と僕の背中に後頭部を打ちつける幼馴染。

自由に水の中を泳いでたいじゃないか
鮪でもいいじゃん

海水はしょっぱいからやだ 断然淡水
じゃあおんなじだ

幼馴染はははっと笑った。

出来るなら綺麗なところで生きて消えてしまいたい
ふうん

適当に相槌を打ったらちゃんと聞いてよと頭突きされた。

知らないよ、と僕は痛む背中を抑えながら言った。

幼馴染はふん、と鼻息を荒くした。

で？なんで鯉になりたいの？

特に意味はないよ

なんでさ？

だって金魚って言ったら鯉しかないじゃないか それに僕は飼い主
にはなりたくない どうせなら一緒に生きて行きたいじゃないか

僕の答えに幼馴染は絶句したように間を開けた。静かな部屋の中で雨音がぱらぱらと屋根に当たる音がする。

窓を閉めようと立ち上がるといてっと幼馴染の声がした。

どうやら寄りかかってた僕が立ち上がったことでバランスを崩したらしい。

仰向けで僕を睨む幼馴染の顔は金魚のように真っ赤だった。

もう幼馴染は金魚になりたいなんて言わないだろう。

（後書き）

金魚が赤いのがなんで知ってる？

誰かが大好きで大好きでその気持ちで赤という色になって染まっちゃったんだよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1532q/>

魚

2011年1月16日03時45分発行